

2024 年 12 月のブルーベリー農園その 2

東広島市豊栄町のブルーベリー農園ではブルーベリーの紅葉がまだ続いていて、メインの晩生のブルーベリーは落葉をまって剪定をするので今

の時期に落葉している早生の木 100 本余りの剪定に取り掛かりほぼ終了。そして里山のシカ対策で設置していた防獣ネットもここ数年被害がないので撤去作業も終了。これから年末までは農園周囲の灌木、笹、竹の伐採やブルーベリーの木の周りの耕起や伸びた根の根切りなどの作業に移行する。

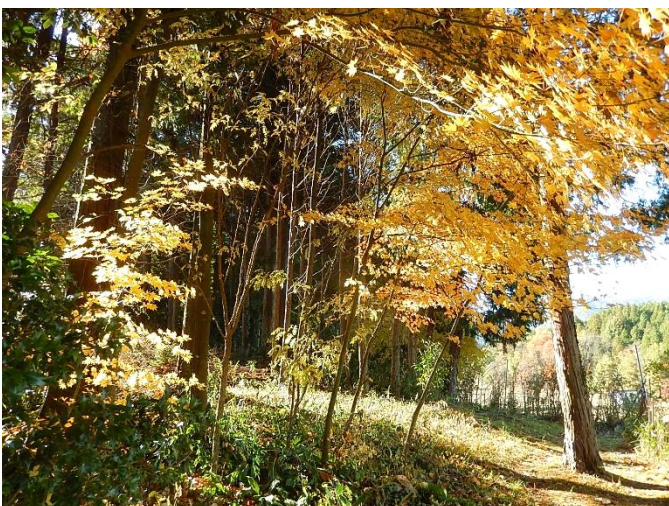
12 月 8 日（日） 日中は穏やかな天気だった



里山の木々の間からブルーベリー畑の紅葉が見える



12 月 8 日（日）には里山のカエデも黄色に紅葉していたが



11 日には一気に落葉して地べたを黄色く染めた



とても大きくてよく茂ったブルーベリーの木（晩生のティフブルー）は花芽もしっかりついている



ブルーベリー畑の電気柵のポールにとまるジョウビタキ（翼の左右の真ん中が白い）



里山のエゴノキの枝にとまるヤマガラ



剪定作業中の里山からも刈った木々は田んぼに運んで野焼きする近所の農家の方が作業をしているのが見える



しばらくすると黙々と煙が上がる



12月13日（金） ブルーベリー園にある里道もきれいに伐採する



アキノキリンソウの花が終わり穂にはたくさんの種が実っている。春に芽がでることを期待して何本か切って地べたにまき土をかけてみた



2024年12月15日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良

《2024年12月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

